

海軍記念館

年表

明治34年10月	舞鶴鎮守府開庁
大正12年	ワシントン軍縮条約により 舞鶴要港部に縮小
大正14年	海軍機関学校が横須賀から 移転開校
昭和8年	大講堂竣工（現 海軍記念館）
昭和14年	舞鶴鎮守府に格上げ
昭和20年8月	終戦 ～終戦後進駐軍に接收され、 外壁を白く塗り、ダンスホール として使用される
昭和39年	海軍記念館開館
平成7年	平成の大改修 ～建築当時の外壁を復元する



海軍記念館の歴史

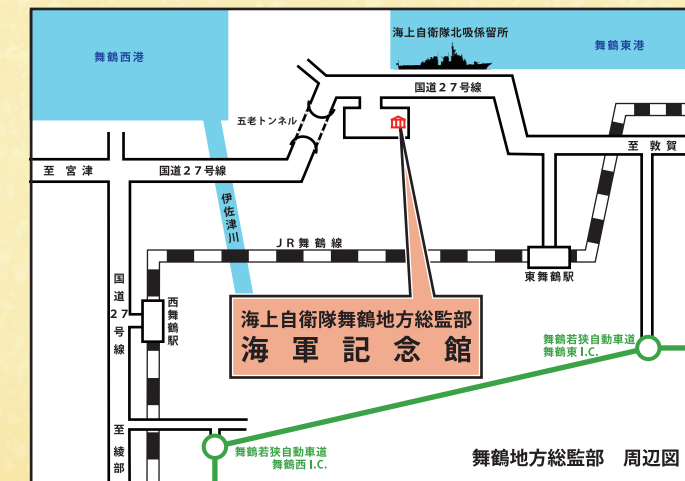
この建物は、昭和天皇が海軍機関学校（舞鶴）に御行幸されるにあたり、当時の海軍機関学校職員等の海軍士官らが昭和8年（1933年）に費用約6万円（現在の金額で5～6億円）、建設期間3ヶ月という突貫工事で建てられました。

海軍記念館正面に展示中の軍艦旗は、水上機母艦「秋津洲」で使用されていたものです。「秋津洲」はフィリピン沖の海戦で沈没しますが、沈没時に乗員の手によって持ち出されたものです。

東郷元帥胸像は太平洋戦争終結後、何らかの理由により西舞鶴の埠頭の土の中に埋められていました。終戦後18年を経た昭和38年にパトロール中の警察官によって発見され、海上自衛隊に寄贈されました。

これを機に舞鶴近辺の海軍にゆかりのある品々を収集・展示し、昭和39年5月27日の海軍記念日（東郷元帥がロシアのバルチック艦隊に勝利した日：太平洋戦争後に廃止）にオープンしました。

現在の展示数は約200点となっております。



～お問い合わせ～

〒625-8510 京都府舞鶴市字余部下1190
海上自衛隊舞鶴地方総監部広報推進室
TEL 0773-62-2250

海上自衛隊 舞鶴地方総監部



第1展示室

第1展示室には、主に幕末から大正までの史料を展示しています。特に初代舞鶴鎮守府司令長官の東郷平八郎中将(当時)、第6潜水艇の佐久間艇長及び日露戦争における旅順港閉塞作戦に関する史料が多く展示されています。



東郷平八郎中将

明治34年10月1日に開庁した舞鶴鎮守府の初代司令長官。舞鶴税務署から寄贈された、明治36年の所得台帳や、東郷元帥の肖像画が描かれたフィンランドのピューニッキ社製アドミラルビールなどを展示しています。

佐久間艇長

福井県三方町の出身で、国産第1号の第6潜水艇の艇長。明治43年、岩国沖にて潜航訓練中の事故のため13名の乗組員とともに殉職。

旅順港閉塞作戦

日露戦争において、旅順港内にいるロシア艦隊を封じ込める作戦が計画され、商船21隻300名が参加した作戦。

大講堂



大講堂は、昭和天皇に拝謁を賜った後に、海軍機関学校の大講堂として使用されました。戦後の進駐軍統治期間はダンスホールとして使用され、その際ステージをブラスバンド演奏のために高く改造されました。

現在では、舞鶴地方隊の各種式典・行事に使用しています。



福井丸(絵画)

左の絵は第2回旅順港閉塞作戦の福井丸の絵で、作者は現在の戦場カメラマンのように現地へ赴き、絵を描いていた「東条正太郎画伯」です。

額縁に使用されている木材は、日露戦争終了後海底に沈んだ福井丸

を引き揚げた船体の一部を使用しており、白くなっているところが付着している牡蠣の貝殻等です。

第2展示室

かつては皇族の控室として使われていた部屋であり、現在使用されている出入口のほかに、皇族専用のステージに向かう扉と、御手洗用の扉が備えられています。

現在は海軍機関学校に関するもののほか、海上自衛隊と旧帝国海軍時代との比較、現在の海上自衛隊の活動に関する展示を行っています。



また、大講堂と第2展示室では、海軍ゆかりの品々の特別展示や海上自衛隊の写真展、定期的に歴史を振り返る展示など、各種企画展を実施しております。

